

ほっとステーション癒しの里事業

取組に至る背景・事業の目的

- 佐久市協西地区で平成8年から有志が集まってそば打ちの勉強会を行っていた。その有志で平成10年にそば祭りを行ったことをきっかけに「協西えいっこの会」を結成し、その後様々な地域起こしに取り組んできた。
- 平成12年から、そばの提供や農業体験教室として利用することを目的として、常設の活動拠点「えいっこ亭」の建設に着手した。
- 平成22年度からは、地域発元気づくり支援金を活用して、「えいっこ亭」のトイレ、厨房などの整備や、周辺の環境整備を行っている。



【新規就農者の会】

事業内容

- 「えいっこ亭」の厨房設備の整備
農産物の加工や開発を行うための厨房設備を整備し、平成23年9月2日に食品営業許可を得た。
- リーフレット印刷
「えいっこ亭」をPRするリーフレットを作成し、佐久市観光協会望月支所等へ配付した。
- 「ほっとステーション癒しの里」環境整備
「えいっこ亭」周辺の荒廃農地を整備し、ブルーベリー、栗、レンゲツツジを植栽し、遊歩道などを設けた。



【レンゲツツジの植栽】

事業効果

- 厨房整備により、「えいっこ亭」を年4回開催しているそば祭りや、新規就農者と月1回開催している例会などに活用することができるようになった。
- 「ほっとステーション癒しの里」環境整備により、遊休農地を約40アール解消することができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 今後も「えいっこ亭」をそば祭りや、新規就農者例会などに活用していく。
- 周辺環境整備の植栽を利用し、来訪者がブルーベリーの摘み取りや栗拾いができるようにし、交流人口の増加及び野生動物の食害の抑制を図りたい。
- 「えいっこ亭」について、現在は完全予約でそばを提供しているが、将来的には通年営業を目指したい。

【選定のポイント】

えいっこ亭の整備により、通年営業できる施設ができ、地元の雇用を創出することが期待される。

団体名 協西えいっこの会（佐久市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 会長 柳沢 四郎	事業費	4,112,302円
メールアドレス malu@janis.or.jp	支援金額	3,000,000円